

# 彼方「かなた」

校長通信  
H25.3.16  
Vol.50

## 【平成二十四年度第六十六回卒業式 式辞】



厳しい冬の寒さ  
を乗り越え、全身  
で春の暖かさを感  
じられる季節にな  
りました。

一六五名の卒業  
生の皆さん、卒業  
おめでとう。保護  
者の皆様、本当に  
おめでとうござい  
ます。

日に我孫子市教育委員会 豊島秀範様、我孫子市議  
会 議長 茅野理様をはじめ、多数のご来賓の皆様、  
保護者の皆様にご臨席を賜り、「第六十六回卒業証書  
授与式」を挙行できますことに大きな喜びを感じて  
おります。心より感謝申し上げます。

さて、この式辞は、私が卒業生の皆さんに送る義  
務教育最後の授業です。

ここに皆さんの卒業アルバムがあります。裏表紙  
に書かれている詩を紹介します。

「私には、たくさん なりたいものがある。  
でも、一つしか叶えられない。 そのことも

叶えられないかもしれない。  
考えても答えは出ない。  
だから、なりたいものに期待を膨らませて  
一日一日努力する。」

この口語自由詩は、皆さんの仲間の一人が国語の  
授業で書いたものです。この詩を借りて皆さんにお  
話したいことがあります。

それは、「今を一生懸命生きる」ということです。  
皆さんは、中学校三年間一生懸命学校生活を送っ  
てきました。特に三年生になっての頑張りは本当に  
目を見張るものがありました。

修学旅行二日間の班別行動では、誰一人遅れるこ  
ともなく、病気になることもなく計画通りできたこ  
と。葛南大会で好成績を残すことができ、県大会や  
全国大会に出場できたこと。体育祭で新たな応援ス  
タイルをみんなで作上げたこと。一度も成功して  
いなかった四段塔  
を立ち上げたこと。  
合唱コンクールで  
は、聴く人の心を揺  
さぶる演奏ができ  
たこと。受験に向け  
て朝の学習会をス  
タートさせ、雰囲気  
をつくることでで  
きたこと。実力テス  
トの成績が回を重  
ねることにあがっ



てきたこと。

数え上げればきりが無いほど皆さんは充実した学  
校生活を送ることができました。しかし、私たちの  
人生は変化し続けており、自分の人生を思いどおり  
にコントロールすることはなかなかできません。い  
や、思い通りになったり、叶えられたりするほうが  
少ないかもしれません。やるのが必ず「成功」す  
る、うまくいくということはないのです。そんなと  
き皆さんの心に止めて欲しいことがあります。

それは、「自主貢献」と「笑顔」です。

「自主貢献」はご存じ私達の学校教育目標です。  
自分から進んで考え、行動し、助け合うということ  
です。

勉強が分からないとき、問題の解決策が出てこな  
いとき「教えて」と自分から周囲に聞いて一緒に学  
び合ったように、卒業式の実行委員がみんなに「ど  
うしたらもっといい卒業式にできる？」と聞いて、  
みんなで話し合い、助け合ったように、自分から求  
め、みんなで助け合っていくことの大切さを心に刻  
んで欲しいのです。

そして「笑顔」は、自分の判断基準です。

自分の未来を拓こうとするとき、岐路に立たされ  
たとき、「笑顔」を判断基準にするのです。泣き顔や  
嘲笑ではなく、大切な人達の「笑顔」を判断基準に  
するのです。そうすれば、たとえうまくいかなか  
たとしても必ず進むべき道が見つかります。

ここに「未来を拓く君に」という本があります。  
人が生きていくためにとても大切なことが書かれた  
本です。作者の田坂広志先生は、未来を切り拓く上



何かを成し遂げようとの決意」それが「志」だと述べています。

世の中のために、大切な何かを成し遂げようとする決意さえあれば、たとえ「失敗」しても、それは「成功」の途中でしかないのです。時には何もしたくないほど落ち込むこともあります。沢山の「笑顔」を大切にすることを思い出し、成長のための更なる一歩を踏み出して欲しいと願っています。

卒業生の皆さん、今日の卒業式は、決心する日です。「志」を持って、「今を一生懸命生きる」ことを心に決める日です。本当に卒業おめでとう！

保護者の皆様、私たちは、お子様のために一生懸命努力してきたつもりではありません。しかし、誠に微力であり、ご期待に添えられたかどうか懸念するところですが、それにもかかわらず、いつも、温かいご支援を賜りました。本当にありがとうございます。改めて御礼申し上げます。

結びになりますが、本日、ご多忙にもかかわらず、

で、決して忘れてはならないものを「志」と書いています。そして、その「志」とは何かを一言で述べています。

「与えられた人生において、己のためだけでなく、多くの人々のために、そして、世の中のために、大切な

ご臨席を賜りましたご来賓の皆様、これからも温かく卒業生並びに湖北中学校へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。式辞とします。

平成二十五年三月十五日

我孫子市立湖北中学校長 田中 聡

